

公告 昭 36.5.12 出願 昭 33.12.27 実願 昭 33-69318

考 案 者 市 原 忠 重 東京都豊島区千早町1の46  
出 願 人 アストロ光学工業株式 東京都千代田区大手町2の2  
代理人 弁理士 中 村 武 (全2頁)

望 遠 鏡

図 面 の 略 解

第1図は本考案望遠鏡の正面図である、第2図はその平面図である、第3図は赤緯軸部の縦断面図である、第4図は第3図のⅣ-Ⅳ線における拡大断面図である、第5図は第3図のⅤ-Ⅴ線における拡大断面図である。

実 用 新 案 の 説 明

本考案は望遠鏡における互に廻動する赤緯軸と極軸との組合構造の改良にして従来如く此等赤緯軸及極軸に中心軸杆を有せず承筒により互に廻転するように組立てられ部品を少なくし構造を簡単にし且両軸の廻動は制動ピンによりフリーストップができるようにしたものである。

図面において1は三脚を取付ける架台にしてその上部の円盤状承2,2の間に極軸の下端を形成する円盤状部3を挿入し軸5及蝶螺子5'により締付けたものである而して盤状部3の上端は皿状を形成する環状突縁4が一体に形成せられ該突縁は盤状周縁4'のやゝ内側に直角に突出し此環状突縁の周りには環15が嵌合す此環の一侧には突出部6が形成せられ該突出部の螺系孔7中に重錘支杆8が螺入す9は重錘である而して環15の他側には套管10が一体に形成せられ該套管は望遠鏡11を支持するバンド板12の内側に形成する円筒部13中に嵌入せらる14は環15の周縁に切縁方向に形成せる円筒にして此円筒内に調整螺系杆21が螺入せらる此螺系杆の内端に接触するピン21'の先端は斜に切取

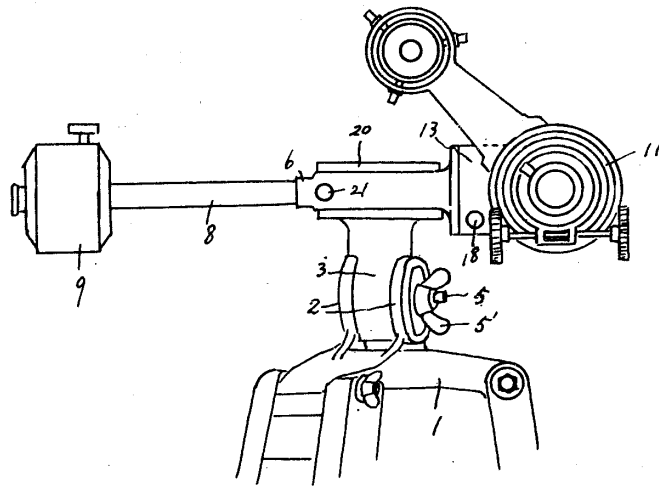
られてその斜面6は環状突縁4の外面に接触す。同様に円筒部13の周縁には切縁方向に円筒17が形成せられ該円筒内に調整螺系杆18が螺入し該螺系杆の内端に接触するピン18'の先端は斜に切取られてその斜面19は套管10の外周面に接触す。斯くして調整螺系杆21を適当に螺入することにより環15を極面を形成する皿状盤4の周りに廻動し得べく而も自由の位置に停止し所謂フリーストップが出来るものである又調整螺系杆18を適当に螺入することにより同様に望遠鏡を所望傾斜角度にフリーストップ出来る効果がある。

本案は上述する如く皿状盤4を極軸として環15をその周りに嵌合し該環の一侧に形成せる套管10をバンド板12に一体に形成する円筒部13に嵌合したものであるから中心軸杆を備えず簡単に組立てられ而も調整螺系杆21,18'の先端に接触するピン21',18'の先端が斜に突縁14及套管10に切縁方向に接触するを以て環15及望遠鏡11を自由にフリーストップ出来る効果がある。

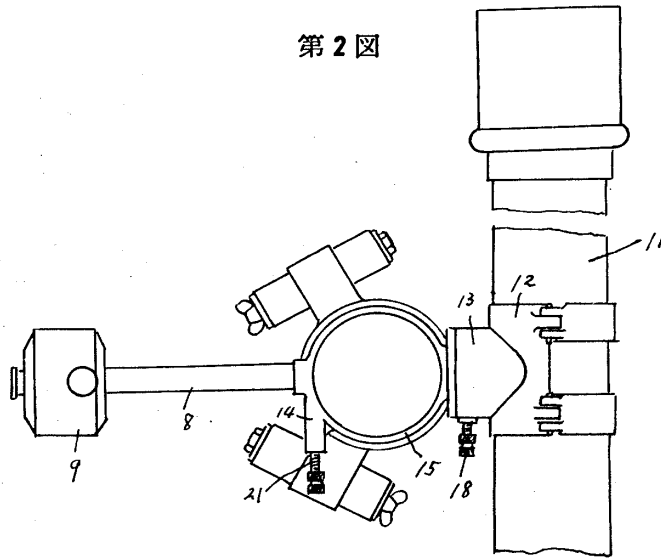
登 録 請 求 の 範 囲

図面に示す如く極軸を形成する皿状盤4の周りに環15を嵌合し該環の一侧に形成せる套管10をバンド板12に一体に形成する円筒部13に嵌合し此等環15及円筒部13に螺入する調整螺系杆21,18の内端に接触するピン21',18'の先端を傾斜せしめて突縁14及套管10の外面に切縁的に接触せしめた望遠鏡の構造。

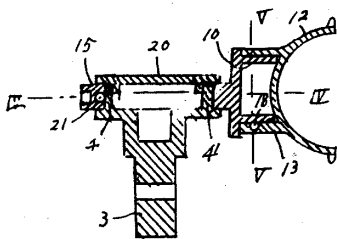
(2)  
第1図



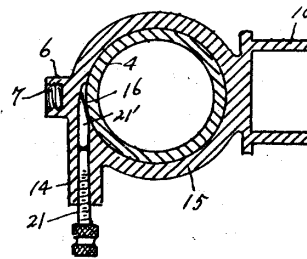
第2図



第3図



第4図



第5図

